

SEA-0810

環境活動レポート 2018

(運用期間：2018年8月～2019年7月)



2019年10月10日 作成

SWEEPING SERVICE
株式会社 スイーピングサービス

目 次

1. 会社の概要
2. 事業内容
3. 環境方針
4. 環境目標
5. 2019年度環境活動計画
6. 環境活動計画の取組結果とその評価
7. 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無
8. 代表者による全体評価と見直しの結果
9. 施設等の状況
 - (1) 収集運搬車両の状況
 - (2) 積替え保管施設の面積と保管上限量
 - (3) 処理施設の種類等
 - (4) 処理工程図
 - (5) 処理実績(受託した産業廃棄物の処理量)
10. 地域貢献活動の今

1. 会社の概要

【会社名】 株式会社スイーピングサービス

【代表者】 代表取締役 田邊 昌志

【設立】 1973年(昭和48年)7月20日

【資本金】 3,000万円

【売上高】 586,756千円 (2019年7月期)

【従業員数】 43名

【事業所、敷地面積】

- (a) 本社 東京都あきる野市瀬戸岡360番地1
298㎡ TEL. 042-597-6112
- (b) 日の出事業所 東京都西多摩郡日の出町平井15番地10
801㎡ TEL. 042-597-6111
- (c) 立川支店 東京都立川市曙町2丁目2番22号プラウドタワー立川1701号
55㎡ TEL. 042-527-2066
- (d) 南多摩支店 東京都稲城市東長沼1735番地7エクセル稲城104号
17㎡ TEL. 042-370-0068
- (e) 武蔵野支店 東京都西東京市芝久保町3丁目15番24号メゾン芝久保103号
13㎡ TEL. 042-452-0232
- (f) 汚泥処理施設 東京都西多摩郡日の出町平井26番地1
3,842㎡ TEL. 042-597-6112

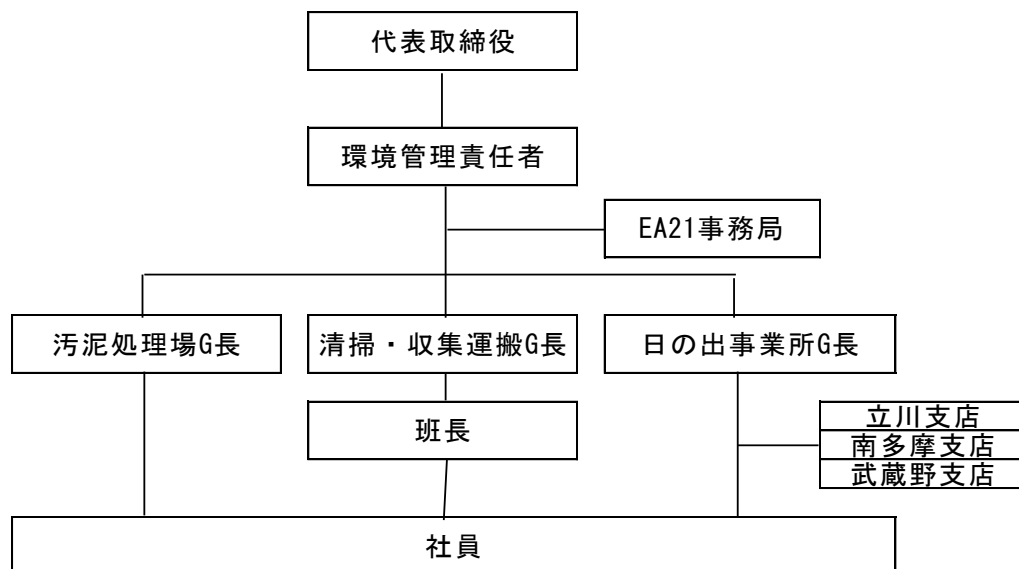
【エコアクション2.1対象事業所】

全社

【環境管理責任者及び事務局】

環境管理責任者 取締役 小林 秀次
事務局 田平 大悟 佐原 有加
TEL. 042-597-6111 FAX. 042-597-6115

【組織図】



2. 事業内容

- 【事業内容】 (1) 廃棄物処理業務
 産業廃棄物の収集・運搬（積替え保管含む）、中間処理（汚泥）
 一般廃棄物の収集・運搬
- (2) 清掃・維持管理業務
 道路公園、建物、路面、貯水槽、浄化槽、管渠、厨房、
 グリストラップ、清掃下水道管漏水・TVカメラ調査、
 処理施設の保守管理

【優良性基準適合認定】

認定の区分	産廃エキスパート	
業の区分	収集運搬業（積替え保管含む）	中間処理業
認定番号	3-18-B0085	3-18-C0080
有効期間	平成31年4月1日～平成34年3月31日	

【許可の内容】

<産業廃棄物収集運搬業>					許可品目											
No	都道府県・政令市	許可番号	許可年月日	有効期限	燃え殻	汚泥	廃油	廃プラ	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	リット・陶磁器くず	ガラス・コンクリート	鉢さい	がれき類
1	東京都	13-10-005352	平成31年2月1日	令和8年1月31日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2	神奈川県	01400005352	平成29年8月30日	平成34年8月21日		●	●	●	●	●	●	●	●	●		●
3	埼玉県	01101005352	令和元年10月8日	令和8年8月27日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
4	千葉県	01200005352	平成30年1月4日	平成34年11月20日		●	●	●	●	●	●	●	●	●		●
5	山梨県	01900005352	平成30年10月23日	平成35年10月22日		●		●	●	●	●	●	●	●		●
<産業廃棄物処分量>																
6	東京都	13-20-005352	平成28年7月23日	令和3年7月22日		●										
<一般廃棄物収集運搬業>					許可品目											
7	福生市	第2913号	平成30年4月1日	平成32年3月31日	事業系一般廃棄物											
8	瑞穂町	瑞生許可第12-3号	平成30年9月20日	平成32年9月19日	紙くず・木くず											
9	青梅市	許可収・運第68号	平成30年10月1日	平成32年9月30日	事業系一般廃棄物（紙くず・木くず）											
10	檜原村	30許可第1号	平成30年4月1日	平成32年3月31日	道路の清掃により発生する廃棄物											
11	羽村市	許可一廃収第31号	平成30年9月26日	平成32年9月25日	事業系一般廃棄物（紙くず・木くず）											
12	日の出町	29日生第13323号	平成30年4月1日	平成32年3月31日	浄化槽汚泥、道路・公園及び河川の清掃により発生する廃棄物											
13	あきる野市	あ環生収第328号	平成30年4月1日	平成32年3月31日	浄化槽汚泥、道路・公園及び河川の清掃により発生する廃棄物											
14	奥多摩町	第3号	平成30年10月29日	平成32年10月28日	事業系一般廃棄物（紙くず・木くず）											
<一般廃棄物処分量>																
15	日の出町	30日生第6002号	平成30年12月1日	平成32年11月30日	破砕処理（木くず）											
<建築物飲料貯水槽清掃業登録証明書>					備考											
16	東京都	9貯第1429号	平成30年4月10日	平成36年4月9日												
<建設業許可>					業の区分											
17	東京都	東京都知事許可（般-28）第115850号	平成28年8月15日	平成33年8月14日	土木工事業、とび・土工工事業、管工事業、造園工事業、水道施設工事業、解体工事業											
<浄化槽保守点検業者登録通知書>					備考											
18	東京都	浄保（9）第230号	平成30年2月25日	平成35年2月24日												
19	八王子市	八浄保 第19-9号	平成30年2月25日	平成35年2月24日												
<浄化槽清掃業許可証>					備考											
20	あきる野市	あ環環収第323号	平成30年4月1日	平成32年3月31日												
21	日の出町	29日生第13325号	平成31年4月1日	平成32年3月31日												

3. 環境方針

環 境 方 針

<基 本 理 念>

株式会社スイーピングサービスは、産業廃棄物収集運搬・中間処理業を通じて地域社会に快適な生活環境を創造し、汚泥処理の分野で「環境に貢献する企業」を目指します。

<行 動 指 針>

1. 環境負荷の継続的改善
エコアクション21を積極的に運用し、環境負荷の継続的改善に努めます。
2. 法令遵守
当社業務に適用される環境関連法規等を遵守します。
3. 環境活動への取組み
当社の事業特性を踏まえ、以下の環境活動に重点的に取組みます。
 - (1) 環境負荷の削減
省エネルギー・省資源
 - (2) 環境取組の推進・向上
グリーン購入の推進
環境美化の推進
リサイクルの推進
4. 実施態勢の確立と環境教育
エコアクション21の機能を効果的・効率的に推進していくために、社内の実施態勢を確立し全社員への環境教育に努めます。
5. 環境目標の設定
この環境方針を達成するために、環境目標を設定し、定期的に見直し環境改善に努めます。

制定 2014年1月1日

株式会社スイーピングサービス

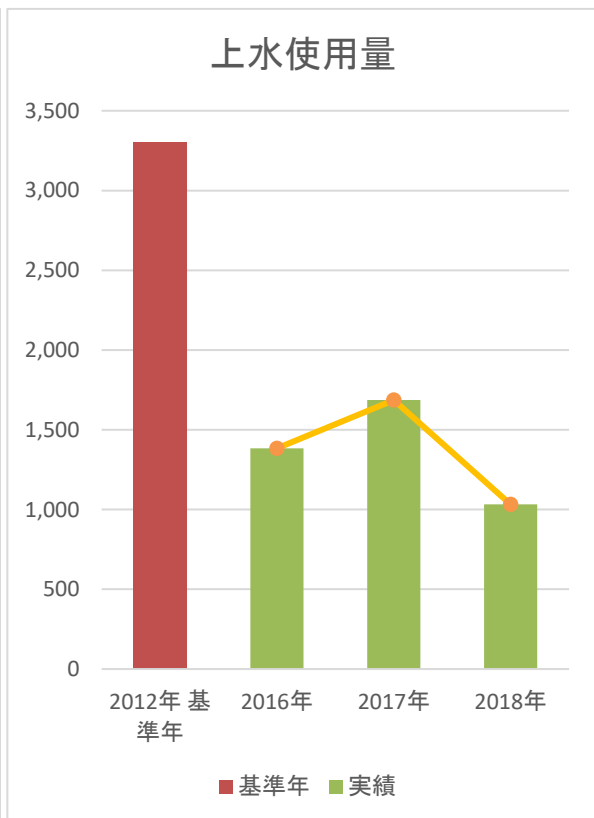
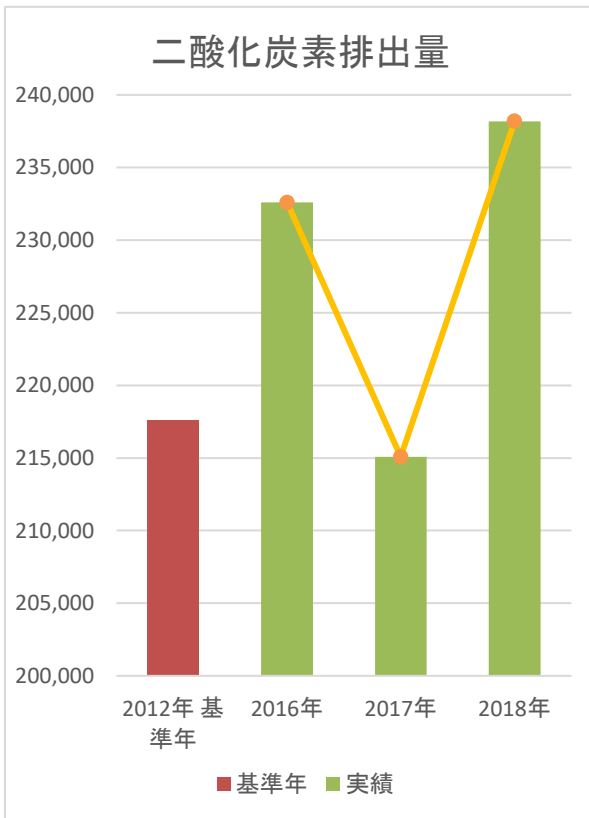
代表取締役 田邊 昌志

4. 環境目標

施策	項目	区分	単位	2016年度	2017年度	目標	2018年度	評価	中期目標 (2019年度作成)			
				実績	実績		実績		2019年度	2020年度	2021年度	
1. 環境負荷の削減	1.1 省エネルギー・省資源	二酸化炭素排出量削減(*)	kg-CO2	232,600	215,086	240,843	238,176	-	253,020	250,492	247,990	
				2018年度目標比		100.0	98.9%	○	-	-	-	
		軽油燃料消費量削減	清掃・収集運搬	ℓ	68,842	60,149	65,808	62,823	-	65,150	64,499	63,855
					2018年度目標比		100.0	95.5%	○	-	-	-
		電力使用量削減	汚泥処理場	KWh	71,249	81,209	105,132	117,314	-	136,192	134,831	133,483
					2018年度目標比		100.0	111.6%	×	-	-	-
		電力使用量削減	日の出事業所	KWh	40,681	42,144	41,723	41,360	-	41,395	40,982	40,573
					2018年度目標比		100.0	99.1%	○	-	-	-
		計		KWh	111,930	123,353	146,855	158,674	-	177,587	175,813	174,056
		2018年度目標比					100.0	108.0%	×	-	-	-
		上水使用量削減	汚泥処理場 (2015年度は日の出事業所含む)	m ³	1,384	1,686	2,064	1,032	-	1,367	1,354	1,341
					2018年度目標比		100.0	50.0%	○	-	-	-
日の出事業所	m ³		430	445	441	428	-	434	430	426		
			2018年度目標比		100.0	97.1%	○	-	-	-		
計		m ³	1,814	2,131	2,505	1,460	-	1,801	1,784	1,767		
2018年度目標比					100.0	58.3%	○	-	-	-		
1.2 自社廃棄物排出量	一般廃棄物削減	全社	kg	601	746	739	554	-	633	627	621	
2018年度目標比					100.0	75.0%	○	-	-	-		
2. 環境取組の推進・向上	2.1 グリーン購入の推進	グリーン購入率の向上(金額)	全社	%	30.1	31.4	購入の定着	87.9	○	購入の定着		
	2.2 受託した産業廃棄物の環境配慮	3Rの推進	汚泥処理場	-	処理設備の設計及び設置	処理設備の設置及び稼働	処理設備の安定操業	処理設備の安定操業	○	処理設備の安定操業		
	2.3 環境美化の推進	生活環境影響評価(騒音・臭気)	汚泥処理場	-	各月実施	各月実施	測定実施と規制値内の確認	各月実施	○	各月実施		
		地域貢献活動	全社	-	年12回実施	年12回実施	地域清掃の実施	年12回実施	○	年12回実施		
	2.4 清掃業務(道路、下水等)の向上	作業効率の向上	清掃・収集運搬	-	-	-	-	-	-	QCサークルによる日々の作業の改善活動		
	2.5 全従業員の参加	教育・説明会	全社	-	2017.4活動計画の中間報告	3ヶ月毎に中間報告	自らの役割と責任の自覚	3ヶ月毎に中間報告	○	3ヶ月毎に中間報告		

(*)：二酸化炭素の排出係数は、東京電力エナジーパートナー株式会社の2017年度排出係数0.462kg-CO₂/kWhを使用した

環境負荷の実績



5. 2019年度 環境活動計画

<環境活動方針>

- 社員ひとり一人が参画意識を持ち、活動計画を実行し、環境活動に積極的に取り組むこと。
中間報告や活動報告を増やし個々の意識を向上させ、環境への取り組みの更なる活性化を期待する。
- 活動にあたっては「PDCAサイクル」を回すこと。

【P:計画の策定】				【D:計画の実施】	
活動項目	目的	目標値	担当部門	実施方法 (詳細は個別活動計画参照)	
1. 環境負荷の削減	1.1省エネルギー・省資源	軽油燃料消費量削減	65,150 L	清掃・収集運搬G	1) エコドライブ推進、省燃費運転講習参加 2) 暖気運転の短縮・中止 3) 「燃費」の管理(特定車両を対象)
		電力使用量削減	41,395KWh	日の出事業所G	1) 事務室・食堂の空調温度の管理 2) 室内の照明→昼休み消灯、倉庫は使用時のみ 3) 1F受付の自然光利用
			136,192KWh	汚泥処理場G	1) 電気の見える化による消費電力の管理 2) 管理事務室の空調温度の設定 3) 管理事務室消灯チェック確認表への記入
	1.2 自社廃棄物排出量	上水使用量削減	434m ³	日の出事業所G	1) 節水コマ、節水パッドの点検 2) 手洗い時に節水を心掛ける。
			1367m ³	汚泥処理場G	1) 再生水汲み上げポンプの定期点検 2) 洗濯時間を守る 3) 節水コマ、節水パッドの点検
	一般廃棄物削減	633kg	全社	1) 再生紙コピー紙の裏紙利用推進 2) ミスプリントの防止	
産業廃棄物削減	リサイクル促進	全社	1) 発生時リサイクルの徹底		
2. 環境取組の推進・向上	2.1グリーン購入の推進	グリーン購入比率の向上(金額ベース)	購入の定着	全社	1) 本当に必要か、必要な時は環境のことを考えて購入する。 2) 新規購入時のエコ商品検索
	2.2受託した産業廃棄物の環境配慮	3Rの推進(持出量の削減)	新施設の安定操業	全社	1) 新施設の安定操業
	2.3環境美化の推進	生活環境影響評価(規制値内の確認)	騒音、臭気測定の実施	汚泥処理場G	1) 騒音測定(月1回)、臭気測定(月2回)の実施
		地域貢献活動	地域清掃の実施	全社	1) 地域清掃の実施(毎月)
	2.4清掃業務(道路、下水等)の向上	作業効率の向上	環境負荷の低減	清掃・収集運搬G	1) 作業前ミーティング、KYの実施 2) QCサークルによる作業の改善活動
	2.5全従業員の参加	自らの役割及び責任の自覚	教育・説明会の開催	全社	1) 環境活動方針の周知 2) 定期中間報告

【PDCAサイクル】

- P:計画の策定 (Plan)**
活動方針を踏まえ、活動項目、目的、担当部門、実施方法、その時期を決めること(責任者)
活動計画を全社員に周知する(環境管理責任者)
- D:計画の実施 (Do)**
実施方法=個別活動計画・進捗管理表の「具体的施策」を実行すること(社員全員)
- C:取組状況の確認及び評価 (Check)**
毎月初に前月の進捗状況と目標達成状況を評価し、月次営業会議で報告する(責任者)
3ヶ月毎に進捗状況と目標達成状況を評価し、月次営業会議で報告する(環境管理責任者)
- A:全体の評価と見直し (Action)**
前月及び今後の取組み状況が未達の場合、「具体的施策」を見直す(責任者、環境管理責任者)

6. 環境活動計画の取組結果とその評価と2019年度の取り組み

(1) 軽油燃料消費量の削減

- ・ 軽油燃料消費量は目標を達成出来ました。(95.5%)
達成出来た要因は個々がエコドライブ、作業中の無駄なアイドリングストップを実行出来た事です。また、新しく入社した人にも積極的に取り組みの呼び掛けを行いました。
- ・ エコドライブ講習の受講割合は累計で60.0%となりました。新入社員も含め、今後も継続的に計画し、全員の受講を目指します。
- ・ 業務の変動を受けにくい車両を特定し、燃費を指標とした管理を行っています。目標値は前年度の実績3.73km/Lとして今年度は3.61km/L、平均燃費が3.2%下がりました。
- ・ 2019年度もエコドライブ、アイドリングストップを継続し、目標の達成に努めます。

(2) 電力使用量の削減

- ・ 日の出事業所は目標を達成出来ました。(99.1%)
前年度より書類作成を伴う残業が若干減り、エアコン・照明の使用時間が減りました。事務員によるこまめな消灯や空調管理の意識がとて高く、削減に繋がりました。
- ・ 汚泥処理場は目標値を上回りました。(111.6%)
新施設が1年を通して稼働しましたが、想定以上に使用量が増えました。
- ・ 汚泥処理場の電力使用量の見える化(ディスプレイを設置)による消費電力の管理を行い電力の無駄の削減に取り組みました。
- ・ 2019年度は新施設の電力使用をしっかりと管理し、活動計画を継続して削減に取り組みます。

(3) 二酸化炭素排出量の削減

- ・ 汚泥処理場の電気使用量は目標値を上回ったがその他は目標値を下回った為、二酸化炭素排出量は目標を達成出来ました。(98.9%)
- ・ 二酸化炭素総排出量は323,873kg-CO2となりました。

(4) 上水使用量の削減

- ・ 日の出事業所(97.1%)、汚泥処理場(50.0%)の両事業所ともに目標を達成出来ました。
- ・ 汚泥処理場では、新施設の使用量を大幅に削減できた事と作業員の節水に対する意識が向上し励行できた事で上水使用量の削減に繋がりました。
- ・ 2019年度も節水に取り組み、使用量削減に努めます。

(5) 一般廃棄物の削減

- ・ 当活動項目は目標を達成出来ました。(75.0%)。
- ・ 前年度と比べると書類作成を伴う仕事量が減少し、ミスプリントが少くなりシュレッダーごみが減りました。また事務所でのごみの分別、削減努力も出来ました。
- ・ 2019年度も同様に削減に取り組みます。また、裏紙使用の推進を図り目標達成に努めます。

(6) 産業廃棄物の削減

- ・ 自社産業廃棄物は発生していません。
- ・ 今後発生の際は、リサイクルの促進に取り組みます。

(7) グリーン購入率の向上（金額ベース）

- ・ 目標購入率50%に対し87.9%と目標を達成出来ました。
- ・ 年々と対象商品の幅が広がり購入率が上がっています。
- ・ 2019年度も同様に取り組みます。

(8) 3Rの推進

- ・ 「持出量の削減（処理委託量の削減）」をテーマとし、有機系汚泥残渣物の処理施設が一年を通して稼働しました。引き続き安定操業を目指し、3Rを推進していきます。

(9) 環境アセスの実施

- ・ 自社による騒音測定（月1回）・臭気測定（月2回）を汚泥処理施設で行い、基準値を超える値は測定されませんでした。
- ・ 東京都環境確保条例の規制基準を遵守していることの確認を目的とします。

(10) 地域貢献活動

- ・ 対象エリアを3区域に分けて毎月清掃を行い、地域の住民から好評を得ています。
- ・ 2019年度は対象エリアを一部変更して同様に取り組みます。

(11) 教育・説明会

- ・ 3ヶ月に一度、中間報告を行い積極的に環境活動に取り組むよう促しました。
- ・ 2019年度も同様に取り組みます。

(12) カーボンオフセットへの取り組み

- ・ 2011年度以降、事業活動に伴うCO₂排出量の一部をカーボンオフセットしています。
- ・ バウンダリ（対象範囲）は、廃棄物処理工場の稼働、清掃維持管理、事務所、営業車両で使用したエネルギーから発生するCO₂排出量とし、国内クレジットを行っています。
- ・ 2018年度はCO₂排出量は320,800kg-CO₂、CO₂償却量は321,000kg-CO₂でした。
- ・ 2019年度も同様に取り組みます。

7. 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

- ・「環境法令等遵守チェックリスト」にもとづきチェックを行った結果、環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありません。

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

- ・2018年度は汚泥処理場の電力使用量を除き目標を達成する事が出来ました。
これは個々の意識の向上、活動計画をしっかりと取り組めた結果と言えるでしょう。
- ・汚泥処理場の電力使用量は未達であったが、これは新施設が1年を通して稼働し想定以上の使用量増加によるによるものでした。使用量の目安は分かったと思うのでしっかりと目標、活動計画を立て削減に取り組んで下さい。
- ・我々は出来る限りの地球温暖化対策に取り組み、環境負荷の低減に貢献したいと思っております。

9. 施設等の状況

(1) 収集運搬車両の状況

車両の種類	積載量	台数	環境保全対策等	排ガス規制適合車	E C Oドライブ
吸引車	3t	2	密閉式タンク車	○	○
	4t	2			
	5t	1			
	8t	1			
	10t	3			
ダンプ車	2t	2	シート掛け等	○	○
	4t	1			
	7t	1			
	10t	1			
トラック	2t	1			
アームロール車	4t	1	—		

(2) 積替え保管施設の面積と保管上限量

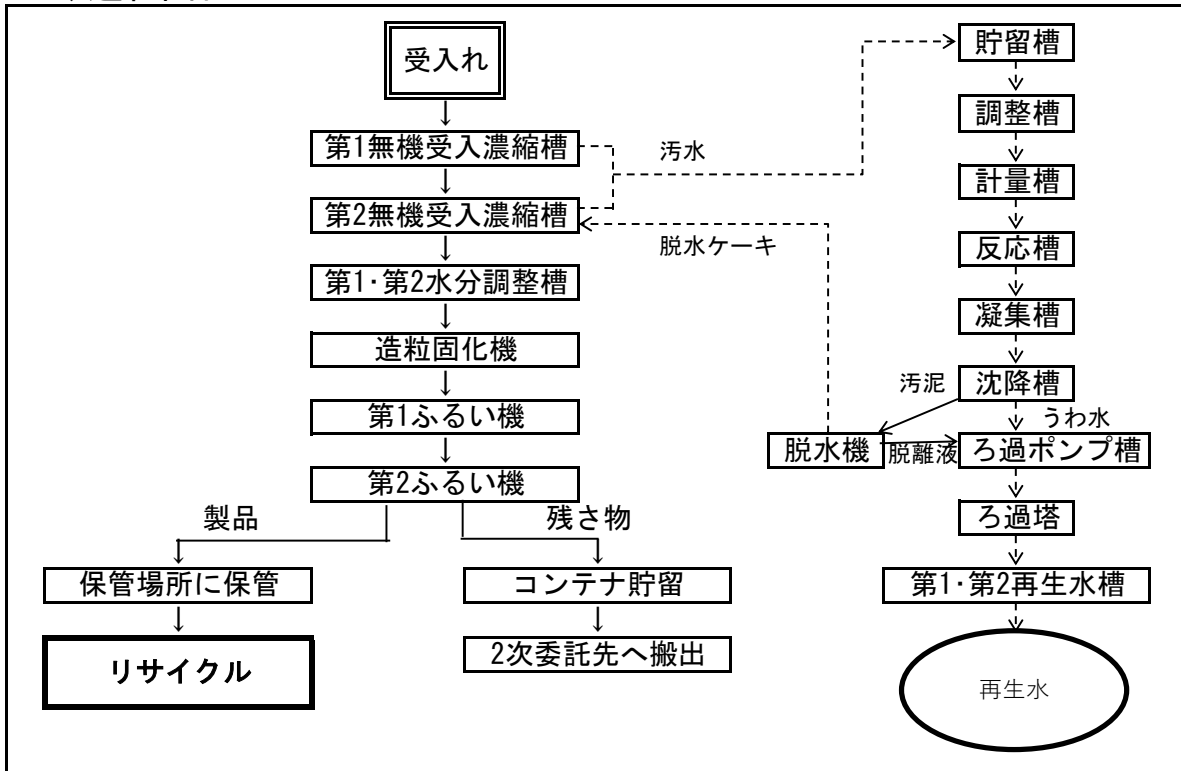
積替え保管施設の面積	保管上限量		
	3,842.21㎡	廃プラスチック類	8㎡コンテナ1個
紙くず		同上	8㎡
木くず		同上	8㎡
繊維くず		同上	8㎡
金属くず		同上	8㎡
ガラス・コンクリート・陶磁器くず		同上	8㎡

(3) 処理施設の種類の等

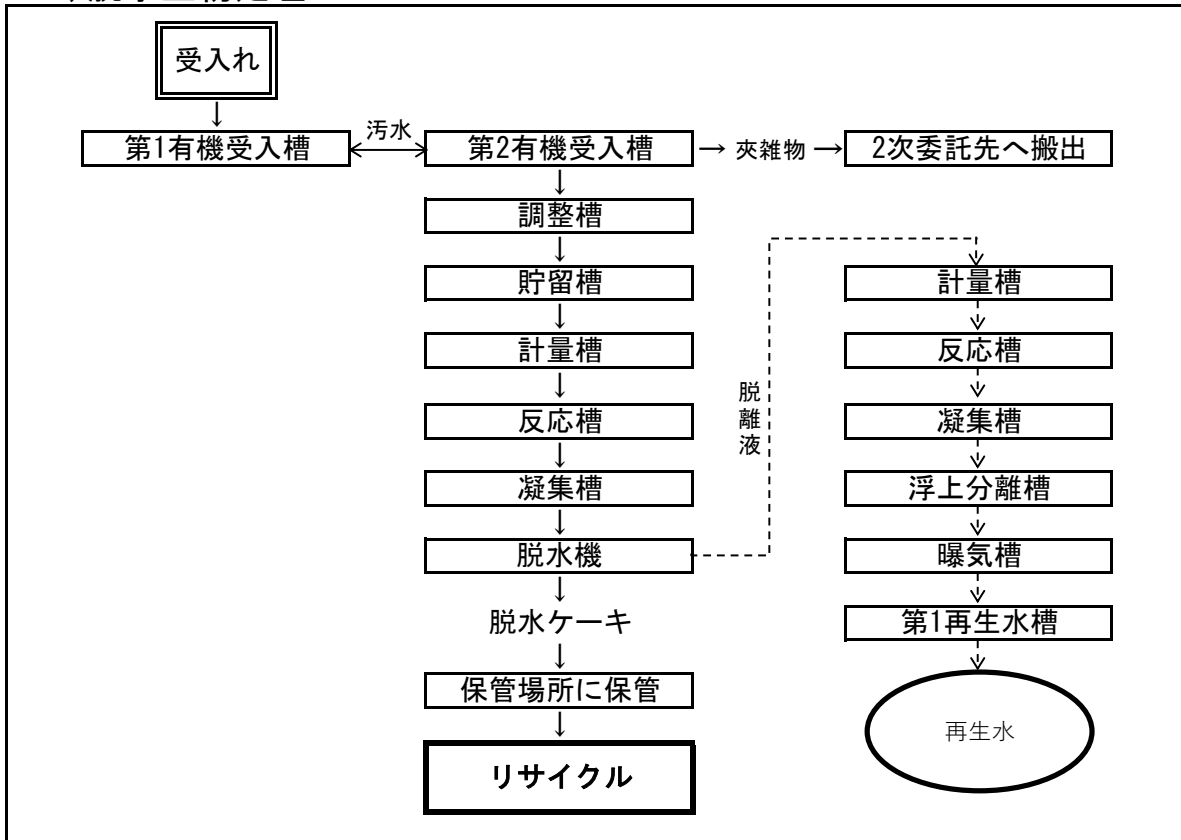
施設種類	産業廃棄物の種類	処理能力
造粒固化	汚泥（管渠清掃、道路・公園等の清掃に係るものに限る）	240㎡/日
脱水生物処理	汚泥（有機性のものに限る）	8㎡/日
回転乾燥	汚泥（自社処理後のものに限る）	7.2㎡/日
発酵	汚泥（有機性のものに限る）	5.04㎡/日

(4) 処理工程図

1) 造粒固化

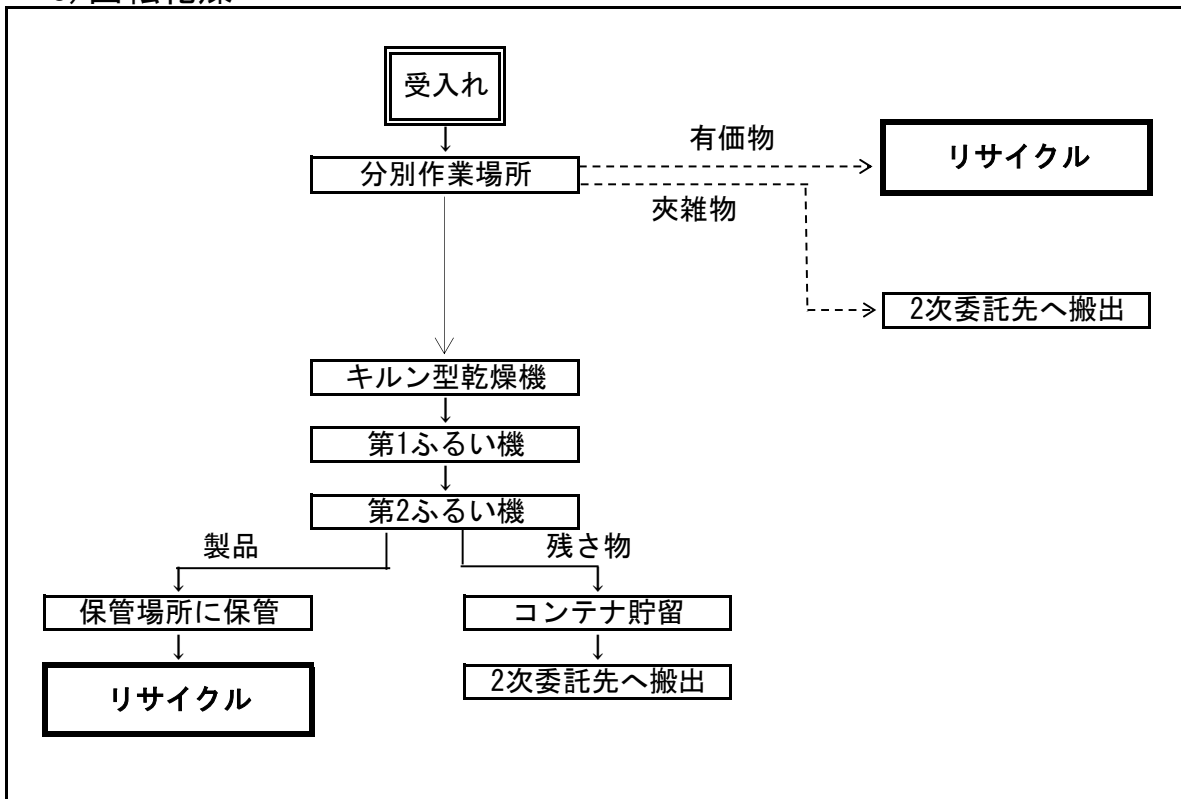


2) 脱水生物処理

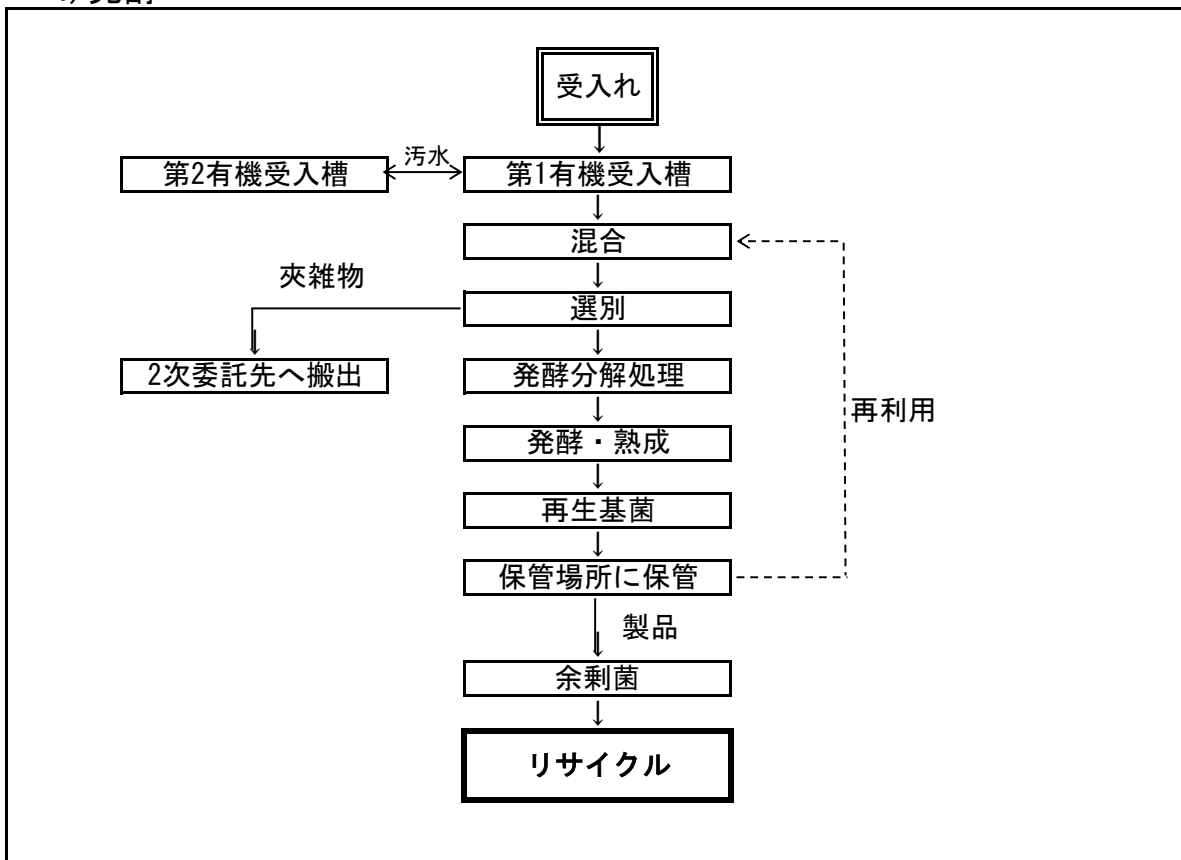


(4) 処理工程図

3) 回転乾燥



4) 発酵



(5) 処理実績/受託した産業廃棄物の処理量

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量t (8月～7月)				
			2016年 H28年	2017年 H29年	2018年 H30年		
産業一般廃棄物	(i) 収集運搬	浄化槽汚泥	1,477	1,557	1,515		
産業廃棄物	(i) 収集運搬	廃プラスチック類	8	10	6		
		紙くず	14	10	9		
		木くず	4	0	0		
		繊維くず	0	0	0		
		金属くず	0	0	0		
		ガラス他	191	33	4		
		廃油	125	171	167		
		汚泥	8,756	8,358	7,682		
	合計			9,098	8,582	7,868	
	(ii) 中間処理	汚泥		11,101	10,381	9,384	
	内、再資源化等	汚泥		6,928	5,667	9,334	
	合計			11,101	10,381	9,384	
	(iii) 最終処分	-		36	9	16	
	合計			36	9	16	
	(iv) 中間処理後の産業廃棄物	最終処分	汚泥	安定型最終処分(委託)	494	275	250
			汚泥	管理型最終処分(委託)	36	9	16
			小計		530	284	266
再資源化等		汚泥	リサイクル製品化	4,919	4,623	4,417	
		汚泥(肥料用)		0	23	2,346	
		汚泥(肥料用)		103	97	87	
		汚泥(コンクリート固化用)		1,151	643	583	
		廃プラスチック類	再資源化(委託)	35	49	36	
		木くず		175	191	308	
ガラス・がれき類			816	614	660		
小計			7,199	6,240	8,437		
合計			7,729	6,524	8,703		

10. 環境活動の今

(a) 毎月行っている近隣の清掃活動の様子です。

(b) 処理場での騒音測定を行っています。

(a)



(b)



(c) 汚泥処理場では電気の「見える化」で、省エネの取り組みに繋がっています。

(d) 現場作業員による道路の側溝清掃作業の様子です。

(c)



(d)



[ホームページ]

詳細な事業活動に関する内容は、下記のホームページに記載しています。

URL : <http://www.sweeping.co.jp>

[連絡窓口]

当社の環境活動や本レポートへのご意見、ご質問等がございましたら、下記のエコアクション21事務局までご連絡ください。

エコアクション21事務局
メールアドレス : eco21@sweeping.co.jp
電話 : 042-597-6111 FAX. 042-597-6115